情報処理Ⅲ

科目ナンバリング　INF-103
選択　　2単位

小柏　香穂理

1. 授業の概要（ねらい）

近年の情報技術の発展により,多様なデータが自動的に蓄積され,それらを有効に活用する事例が多くなってきています.多様なデータの有効活用の裏には,これらのデータを管理する仕組み（データベースシステム）が存在しています.本講義では,データベースシステムの基本的な知識や技術を修得することを目標とします.データベースの基本的なツールとして,Microsoft Accessを活用した演習を行います.

2. 授業の到達目標

①データベースの基本的な知識を説明できます.（知識）
②データベースに関する基本的な操作（テーブルやクエリの作成など）ができます.（技術）
③データベースに関連する技術動向に関心をもち,積極的に関連した書籍やニュースなどを知ろうとします.（関心・意欲）

3. 成績評価の方法および基準

・毎回の演習（70%）（到達目標②）
　授業中に出す課題の基本的な操作ができているかを評価します.
・宿題・授業外レポート（30%）（到達目標①,②,③）
　中間・期末の2回程度,レポート課題を出します.

4. 教科書・参考文献

参考文献
実教出版企画開発部　30時間でマスター Access2013　実教出版

5. 準備学修の内容

毎回の演習では,授業内での提出を原則としますので,事前に予習を行ってください.資料は前の週に配布します.

6. その他履修上の注意事項

欠席および公欠の扱いについては,大学の規程に従います.

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　データベースとは
【第3回】　Accessの基本的な使い方
【第4回】　テーブル（1）ExcelとAccessの違い
【第5回】　テーブル（2）データ型
【第6回】　主キーとリレーションシップ（1）主キーと外部キー
【第7回】　主キーとリレーションシップ（2）参照整合性
【第8回】　クエリの作成（1）クエリデザイン画面でのクエリ作成
【第9回】　クエリの作成（2）内部結合と外部結合
【第10回】　クエリの活用（1）パラメータ・クエリ
【第11回】　クエリの活用（2）クロス集計表
【第12回】　SQL（1）SELECT文の基本
【第13回】　SQL（2）集約関数
【第14回】　データベース活用事例の紹介
【第15回】　まとめ